

約1300年前の奈良時代、大陸との窓口としての役割があった大宰府から、多くの大陸文化が奈良の平城京にもたらされました。また、奈良の東大寺戒壇院とともに天下の三戒壇の一つが筑紫の観世音寺に置かれ、筑前国の国分寺として筑前国分寺が建立されました。歴史的な深いつながりとともに、現代では両市とも大都市近くの観光都市・住宅都市であり、史跡地・文化財の保存活用などの共通点が多いことから、「東大寺サミット」が奈良市で開催されたのを機に友好都市協定を締結しました。

これまでの主な交流

- ・太宰府市立中学校の修学旅行
- ・市民訪問団の派遣
- ・観光物産フェアでの特産品販売や友好都市PR活動の参画 など

市内小中学校では各都市の郷土料理をもとにした友好都市献立給食を提供しています。
毎年6月は奈良市にちなんで献立が提供されています。



<令和8年中学校提供献立>

- ・吉野煮 (写真中央上段)
- ・さわらの竜田揚げ (写真中央下段)
- ・麦ごはん (写真左下)
- ・すまし汁 (写真右下)

古代の大宰府と多賀城は、奈良時代に朝廷の出先機関「遠の朝廷」として置かれ、西海道(九州)と陸奥国を治める役所、外交・防衛の拠点として、ほぼ同時期に機能していました。約1300年前から深い縁で結ばれており、現代も人口規模や都市機能などがよく似ている両市の交流をさらに深めていくため、九州国立博物館開館を機に友好都市協定を締結しました。

これまでの主な交流

- ・中学校「ふるさと夢プロジェクト」
- ・子ども親善使節団の派遣
- ・多賀城跡あやめまつりでの特産品販売や友好都市PR活動の参画 など



締結20周年記念事業として、お互いの地域に住む学生にお互いの市を紹介する動画を作成してもらい、それぞれの市で放映しました。
(令和8年2月～3月)

中津市には、菅原道真公が初めて踏んだ九州の地と言われる犬丸天満宮があり、中津城主・黒田官兵衛が晩年福岡に移った際、太宰府天満宮の再興に尽力するなど、歴史的な縁も深い地です。昭和61年の耶馬溪ダム記念公園の建設に太宰府市の造園業者が従事したことをきっかけに官民の交流が生まれ、平成4年に旧耶馬溪町と友好都市となりました。旧耶馬溪町と中津市の合併後も民間の交流は続いており、それまでの友好関係を継承し、あらためて中津市と友好都市協定を締結しました。

これまでの主な交流

- ・中津市での「木うそ」原木切出し
- ・市内団体のスポーツ交流
- ・中津祇園での特産品販売や友好都市PR活動の参画 など



締結10周年記念事業として、市民対象の中津市日帰りバスハイクを開催しました。(令和6年11月)

※「協定締結(承継)」は、過去に姉妹都市、友好都市協定を結んでいたものの、合併その他の理由で再度包括する自治体などと協定を結び直したものです。 大韓民国扶餘邑→大韓民国扶餘郡 大分県耶馬溪町→大分県中津市

これからもそれぞれのまちとともに発展していくために、お互いのまちの広報活動や観光情報の提供、文化団体や商工団体などの交流、太宰府市民政庁まつりのような各イベントへの相互出店など、交流を進めていきます。

姉妹都市・友好都市パネル展を開催します!

ぜひご来場ください!
各まちの観光パンフレットの配布もあります。

①10月2日(金)～9日(金) 午後3時まで

場所 市役所1階市民ギャラリー

②10月14日(水)～27日(火) 午後3時まで

場所 いきいき情報センター2階市民ギャラリー



1つの姉妹都市と3つの友好都市はどこにある?

◆姉妹都市
大韓民国 扶餘郡

◆友好都市
奈良県 奈良市
宮城県 多賀城市
大分県 中津市

※奈良県明日香村とは、令和8年5月27日に包括連携協定と災害時応援に関する覚書を締結しています。

知っていますか?

太宰府市の姉妹都市・友好都市

本市には姉妹都市・友好都市が4つあるって、知っていましたか?
歴史的背景や長年の民間交流をきっかけに、海外1都市、国内3都市と盟約を結んでいます。



Q そもそも姉妹都市・友好都市ってなに?

A

歴史的な深いつながりや文化の共通点をもっていたり、スポーツ・教育・観光・防災などの分野において友好交流を行ったりするために協定を結んだ都市のことをいいます。本市では海外都市を姉妹都市、国内都市を友好都市としています。



Q 姉妹都市・友好都市にはどんなメリットがあるの?

A

文化や教育の発展をはじめ、いざという時の「防災・災害支援」でも大きな力となってくれます。
例えば、
①未来を担う世代の成長(教育・文化交流)
子どもたちのスポーツ・文化交流・市民訪問団などを通じて、お互いの歴史や文化を学ぶ機会が生まれます。
②地域経済や観光の活性化(物産・イベント)
お互いのイベントで特産品を販売したり、観光PRを行ったりすることで、地域の魅力を発信できます。
③災害時の助け合い(相互防災協力)
地震や大雨などの大規模災害が発生した際、食料や生活物資の供給、職員の派遣などを優先的に助け合う協力体制を整えています。



私たちの姉妹都市・友好都市ってどんなまち?

扶餘は百済王朝の都があったところ。白村江の戦い(663年)で日本・百済連合軍が敗退した後、襲来に備え大野城や水城などを築造した際、工事を指導したのが百済から派遣された技師たちと言われています。

太宰府天満宮文化研究所と扶餘文化院の研究交流をきっかけに、昭和53年に扶餘郡と姉妹都市協定を締結しました。その後、平成24年の太宰府市市制施行30周年にあわせて、姉妹都市関係を扶餘郡へと承継しました。

これまでの主な交流

- ・市内小中学校と扶餘郡内小中学校との姉妹校交流
- ・文化財保存活用の意見交換
- ・太宰府少年の船と百済青少年の星との相互交流 など



扶餘郡百済初等学校の児童が、太宰府西小学校を訪問した時の様子
(令和7年9月)